

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年2月10日
【四半期会計期間】	第89期第3四半期（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 高 濱 英 司
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 高 濱 英 司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第3四半期連結 累計期間	第89期 第3四半期連結 累計期間	第88期
会計期間	2020年4月1日 2020年12月31日	2021年4月1日 2021年12月31日	2020年4月1日 2021年3月31日
売上高 (千円)	2,034,623	1,987,651	2,538,849
経常利益 (千円)	158,230	128,584	127,656
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	100,009	82,746	77,692
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	334,508	30,521	262,881
純資産額 (千円)	3,156,518	3,037,902	3,084,892
総資産額 (千円)	4,460,047	4,237,624	4,331,274
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	48.65	40.25	37.79
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.8	69.6	69.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	17,876	115,023	159,732
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	126,812	64,567	144,236
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	44,459	36,082	10,659
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	578,382	683,387	669,013

回次	第88期 第3四半期連結 会計期間	第89期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	2020年10月1日 2020年12月31日	2021年10月1日 2021年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.18	10.14

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては、記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して93百万円減少し4,237百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が21百万円及び商品及び製品が53百万円増加した一方で、投資有価証券が168百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して46百万円減少し1,199百万円となりました。主な要因は、買掛金が24百万円増加した一方で、繰延税金負債が44百万円及び賞与引当金が42百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して46百万円減少し3,037百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が67百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が118百万円減少したことによるものであります。

経営成績

当社グループの2022年3月期第3四半期の売上高につきましては、主要製品である「アンプル」「管瓶」の需要は堅調に推移し、昨年実績は下回ったものの売上高1,987百万円（前年同期比2.3%減）となりました。新型コロナウイルス感染症の海外製ワクチンの充填用容器として使用される「管瓶」の供給は終了いたしました。国産の新型コロナウイルス感染症ワクチンの治験用に「管瓶」の供給を行っております。

利益面につきましては、製造歩留りの向上及び製品の安定供給に努めましたが、労務費及び設備投資に伴う減価償却費が増加した結果、営業利益106百万円（前年同期比20.4%減）、経常利益128百万円（前年同期比18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円（前年同期比17.3%減）とそれぞれ減少しました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には683百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、115百万円（前年同四半期は17百万円の資金増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加が49百万円、賞与引当金の減少が42百万円、法人税等の支払額35百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益128百万円、減価償却費46百万円、仕入債務の増加が24百万円、利息及び配当金の受取額19百万円、未払消費税等の増加8百万円、売上債権の減少が7百万円及び役員退職慰労引当金の増加が6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、64百万円（前年同四半期は126百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入244百万円があった一方で、定期預金の預入による支出269百万円及び有形固定資産の取得による支出38百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、36百万円（前年同四半期は44百万円の資金増加）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入80百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出99百万円及び配当金の支払による支出15百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2022年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2021年10月1日～ 2021年12月31日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 86,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,050,700	20,507	-
単元未満株式	普通株式 5,100	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	20,507	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が43株含まれております。

【自己株式等】

2021年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	86,200	-	86,200	4.02
計		86,200	-	86,200	4.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2021年10月1日から2021年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、フェイス監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,299	694,655
受取手形及び売掛金(純額)	2,527,720	2,351,729
有価証券	246,095	264,122
商品及び製品	349,371	402,973
仕掛品	3,502	70
原材料及び貯蔵品	45,151	44,190
未収入金	37,887	40,781
その他	1,191	9,707
流動資産合計	1,884,220	1,976,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,385	336,497
機械装置及び運搬具(純額)	107,442	100,847
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	8,463	7,919
その他(純額)	21,976	24,005
有形固定資産合計	920,787	911,788
無形固定資産	1,850	1,605
投資その他の資産		
投資有価証券	1,472,546	1,304,068
繰延税金資産	15,232	6,832
その他	43,444	43,405
貸倒引当金	6,807	6,307
投資その他の資産合計	1,524,415	1,347,998
固定資産合計	2,447,054	2,261,393
資産合計	4,331,274	4,237,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,568	144,158
1年内返済予定の長期借入金	113,600	105,000
未払法人税等	22,984	12,630
未払事業所税	7,368	5,586
賞与引当金	64,282	21,684
その他	132,361	174,660
流動負債合計	460,164	463,720
固定負債		
長期借入金	103,200	92,400
繰延税金負債	385,937	341,649
役員退職慰労引当金	159,232	166,087
退職給付に係る負債	109,000	107,004
資産除去債務	28,847	28,859
固定負債合計	786,217	736,001
負債合計	1,246,382	1,199,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,997,079	2,064,407
自己株式	33,848	33,848
株主資本合計	2,070,913	2,138,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	929,581	810,987
その他の包括利益累計額合計	929,581	810,987
非支配株主持分	84,397	88,673
純資産合計	3,084,892	3,037,902
負債純資産合計	4,331,274	4,237,624

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,034,623	1,987,651
売上原価	1,552,178	1,552,765
売上総利益	482,444	434,886
販売費及び一般管理費	348,258	328,090
営業利益	134,186	106,796
営業外収益		
受取利息	80	56
受取配当金	18,242	19,005
受取賃貸料	6,393	4,025
その他	4,589	5,192
営業外収益合計	29,305	28,280
営業外費用		
支払利息	1,253	1,058
賃貸費用	3,504	5,433
その他	503	-
営業外費用合計	5,261	6,491
経常利益	158,230	128,584
税金等調整前四半期純利益	158,230	128,584
法人税、住民税及び事業税	32,109	25,121
法人税等調整額	18,291	15,390
法人税等合計	50,401	40,511
四半期純利益	107,829	88,072
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,820	5,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,009	82,746

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	107,829	88,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226,679	118,594
その他の包括利益合計	226,679	118,594
四半期包括利益	334,508	30,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,688	35,848
非支配株主に係る四半期包括利益	7,820	5,326

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	158,230	128,584
減価償却費	57,785	46,136
賞与引当金の増減額(は減少)	40,777	42,598
貸倒引当金の増減額(は減少)	325	471
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	19,208	6,855
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,171	1,995
受取利息及び受取配当金	18,322	19,062
支払利息	1,253	1,058
売上債権の増減額(は増加)	101,017	7,961
棚卸資産の増減額(は増加)	8,081	49,208
未収入金の増減額(は増加)	3,818	2,893
仕入債務の増減額(は減少)	6,394	24,590
未払金の増減額(は減少)	4,611	3,371
未払消費税等の増減額(は減少)	8,241	8,343
その他	17,246	21,816
小計	30,335	132,490
利息及び配当金の受取額	18,332	19,051
利息の支払額	1,269	1,043
法人税等の支払額	29,521	35,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,876	115,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	248,876	269,885
定期預金の払戻による収入	234,356	244,876
有形固定資産の取得による支出	111,189	38,201
投資有価証券の取得による支出	1,379	1,396
その他	276	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	126,812	64,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	170,000	80,000
長期借入金の返済による支出	109,200	99,400
配当金の支払額	15,290	15,632
非支配株主への配当金の支払額	1,050	1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,459	36,082
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	64,475	14,373
現金及び現金同等物の期首残高	642,858	669,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	578,382	683,387

【注記事項】

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を実質的に負っているため、支給品の消滅を認識しない会計処理に変更しております。

海外への販売について、従来は、出荷時に収益を認識しておりましたが、主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	96,963千円	131,361千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
受取手形及び売掛金(純額)	663千円	692千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
受取手形	千円	599千円
裏書譲渡手形		347

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
現金及び預金勘定	580,947千円	694,655千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	242,629	275,390
有価証券勘定	240,065	264,122
現金及び現金同等物	578,382	683,387

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2021年3月31日	2021年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(2021年12月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(2021年12月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(2021年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

収益認識の時期別に収益を分解した情報

当社グループの収益認識の時期別の収益の分解と、主たる商品及び製品との関連は次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:千円)

	商品及び製品			合計
	アンプル	管 瓶	その他	
一時点で移転される財	232,779	1,578,691	176,180	1,987,651
一定の期間にわたり移転される財	-	-	-	-
顧客との契約から生じる収益	232,779	1,578,691	176,180	1,987,651
その他の収益	-	-	-	-
外部顧客への売上高	232,779	1,578,691	176,180	1,987,651

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	48円65銭	40円25銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	100,009	82,746
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	100,009	82,746
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,055	2,055

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2022年2月10日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

フェイス 監査法人

東京都渋谷区

指定社員 公認会計士 大槻 直太
業務執行社員

指定社員 公認会計士 枝川 哲也
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2021年10月1日から2021年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の2021年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

その他の事項

会社の2021年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2021年2月10日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2021年6月29日付けで無限定適正意見を表明している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。